

# 農作業の安全対策できていますか？

農水省より2014年農作業死亡事故数が発表されました。

その中で65歳以上の死亡事故者数が295人と昨年よりも23人増え、全体に占める割合は84%と過去最高でした。

農水省では「農業者の高齢化が進む中、安全対策をより強化していかなくてはいけない」と強調しています。



安全な農作業は体調と服装を整えることからはじまります。

## 安全な農作業スタイル

### ヘルメットをかぶる

衝撃から頭を保護するヘルメットを着用しましょう。作業によっては、保護めがねなど他の保護具を着用してください。

### 袖口をしめる

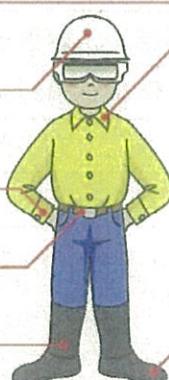
機械にまきこまれないように、袖口はきちんとしめましょう。

### ズボンからシャツをださない

シャツはズボンにいれて、機械にまきこまれないようにしましょう。

### すそのしつぽったズボンをはく

すそのしつぽった長ズボンをはきましょう。



### 首にタオルなどをまかない

首のタオルや携帯電話のネックストラップをはずして、機械にまきこまれにくい服装にしましょう。

すべりにくい靴(トラクターシューズなど)をはく  
転倒を防止するため、すべりにくい靴(トラクターシューズなど)をはきましょう。



安全は足元から。  
これがトラクターシューズです。

## 危険な農業スタイル

麦わら帽子で作業——→衝撃から頭を保護できない

首にタオルを巻く、腰にタオルを挟む——→機械に巻き込まれる危険

ズボンからシャツが出る、袖口をしめない——→機械に巻き込まれる危険

半そで、半ズボンの着用——→肌の露出は虫・ダニ被害や裂傷の危険

サンダル、スリッパで履く——→滑りやすい靴では作業中、転倒の危険

## ☆暑い日々、イライラせず安全な農作業を心がけましょう☆

毎年、農作業中の事故により全国で350名前後、県内でも10名ほどの尊い命が失われています。

事故の多くはトラクターの機械操作ミスなどによる転倒や転落によるもので、特に70歳以上の高齢者で事故が多くなっています。

以下の事項を再度確認して農作業安全に努めましょう！！

### ■ 日頃の作業を振り返り、自分の取り組みをチェックしてみましょう！

No.	項目	内容	チェック欄
①	正しい服装	作業に適した服装を	
②	所在連絡	作業内容や作業場所を家族などにきちんと伝達	
③	携帯電話	緊急時に備え、携帯電話を忘れずに	
④	体力調整	準備運動をしっかりと	
⑤	焦り防止	余裕をもった無理のない作業計画を	
⑥	作業者確認	子供、妊婦、不慣れな人に危険作業はさせない	
⑦	周囲確認	周りの作業者に危険が及ばないよう、周囲を確認	
⑧	複数人作業	危険作業は複数人で	
⑨	機械安全確認	安全装置をきちんと装着	
⑩	エンジン停止	機械から離れる時や点検する時はエンジンを切る	
⑪	適当な休憩	疲労が蓄積しないようにこまめな休憩を	
⑫	危険箇所の確認	危険箇所を確認し、看板等目印を設置	
⑬	技術講習	不慣れな機械作業は講習を受けてから	
⑭	労災・共済	万一の事故に備え、労災保険や傷害共済に加入！	
⑮	応急処置	万一の事故に備え、応急処置の知識を身につける	

#### ＜熱中症対策＞

- 予防は  
①暑さを避ける②こまめな水分補給
- 熱中症の症状は  
①めまい、手足のしびれ、頭痛、嘔吐、吐き気、倦怠感、痙攣、返事がおかしい、身体が熱い、意識消失（→救急車）
- 熱中症になったら  
①涼しい場所へ避難②身体を冷やす  
③水分補給④救急車による搬送

#### ＜マダニの感染症（SFTS）対策＞

- 予防は（生息場所：草むら・水田）  
①作業は長袖長ズボン着用と虫除けスプレー使用 ②帰宅後はすぐ着替える
- 症状は  
吐き気、嘔吐、下痢など消化器系の症状
- 噛まれたら  
①無理に除去せず、医療機関で処置する  
②やむを得ない時はアルコールや酢、火を近づけると離れる場合もある